

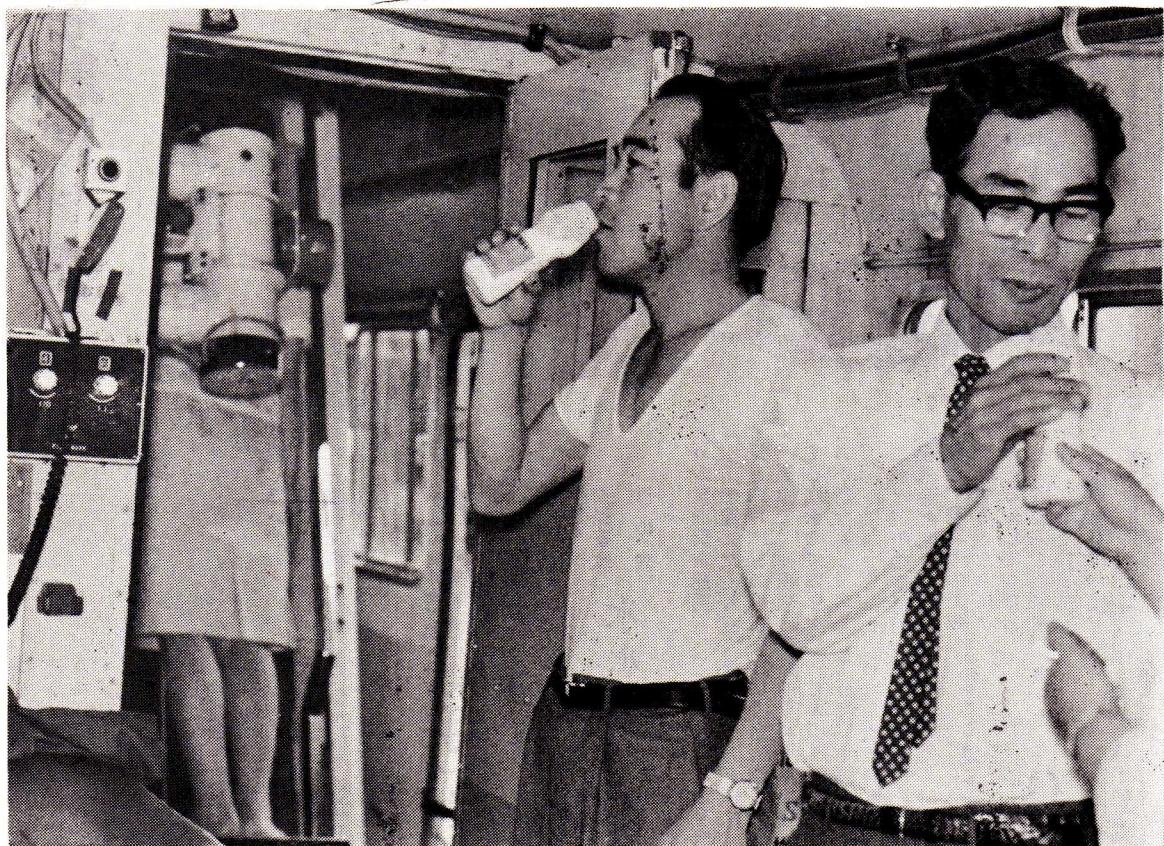
たまつり

昭和44年8月10日 毎月1回発行 昭和38年1月23日第三種郵便物認可

= No. 113 =

編集玉造町役場
広報委員会
発行人町長坂本常蔵
印刷所さんゆう社印刷所

町政日誌



対ガン協会の検診車「ひかり」の中では受診者がバリウム（投影剤）を飲んで順を待つている。

精 密 檢 查

年 度	実 施 数	精 密 検 査		
		対 象	受 診	未 受 診
37	303	62	51	11
38	228	33	30	3
39	186	17	15	2
40	266	84	61	23
41	303	91	80	11
42	188	39	34	5
43	265	17	15	2
44	335	—	—	—
計	2,074	343	286	57

受診数 年平均 三七九年から二七四人

昨年までに検診を受けた数は今部で千七百三十九人で、毎年二百人から三百人程度が受診しています。

三七年度から昨年までの実績を見ると年平均二四七人となっていきます。このうち二〇%の三四三人がレントゲン写真による異常が目立ち、これら「精密検診を要す」という結果が出ています。集団検診としての業務は、一応これまで終るわけですが、町は、事後指導として検診結果を説明し、精密検査を受けるよう指導をしてきました。

しかし、精密検査の受診率は、約八三%で十七%にあたる五七名の者は、この検査を受けておりません。

ついで精密検査の結果について

のべると、胃炎と診断された者が
一番多く、二八六名の受診者のうち
五六名で約十九・五%にあたりま
す。ほかに胃下垂が三二名、
れについて胃潰瘍、十二指腸潰瘍
ようが二〇名前後あり、二名の胃
ガンも発見されております。
ここで強調したいことは、この
精密検査の結果「異常なし」と診
断されたものが一二三人もあり四
二・六%をめ占ることです。
これは、集団検診でレントゲン

現象です。
集団検診の結果「精密検査を要す」ということになると、すぐ病気なのだと思いこむのは早計です。が、また、「あてにはならぬ」と考えて診察を受けないのも自信過剰というものです。検診を受けて自分の体の「異常なし」を確認して毎日を楽しく過ごしましょう。

各種ガン早期 発見の手立て

レントゲン撮影をするときに胃の中に何かの食物があつたり、胃液の分泌状態などにより、異常が撮影される結果起る

①胃ガン＝集団検診で早期発見が出来ます。

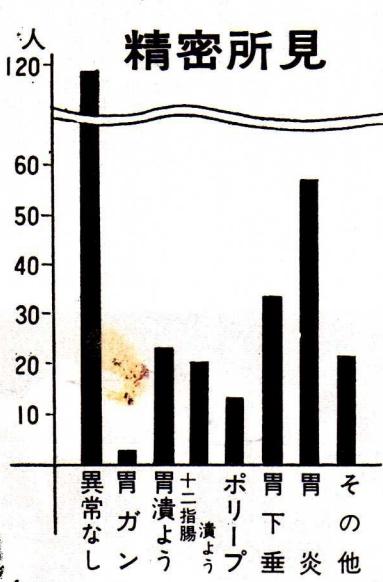
②子宮ガン＝(イ)子宮頸ガン、日本女性に多く集団検診で早期発見百分率が可能です。(ロ)子宮体ガン、日本女性には比較的少なく欧米人には多いガンです。これも早期診断が可能です。

③乳ガン＝女性のガンで子宮の次

現象です。

集団検診の結果「精密検査を要す」ということになると、すぐ病気なのだと悪いこむのは早計ですが、また、「あてにはならぬ」と考えて診察を受けないのも自信過剰というものです。

検診を受けて自分の体の「異常なし」を確認して毎日を楽しく過ごしましよう。



茨城県

ねらいです。この知識のとおりガンは三五才から五五才の、いわば一家の大柱である年令に多いのも皮肉なことです。そんなことを考慮して、対ガソ協会の検診車は休むひまもなく県内をまわっています。従来、この集団検診は中高年令層に重点をおいて行なわれてきましたが、近ごろでは若い人の受診が多くなり、ガンに対する関心が深まったといえます。出来れば年二回の検診が理想のですが、年一回でも、町でう胃の集団検を完全にうけらるようおすすめいたします。

財政事情書を公表

昭和43年度下半期

納税は完了、予算執行72%の健全運営

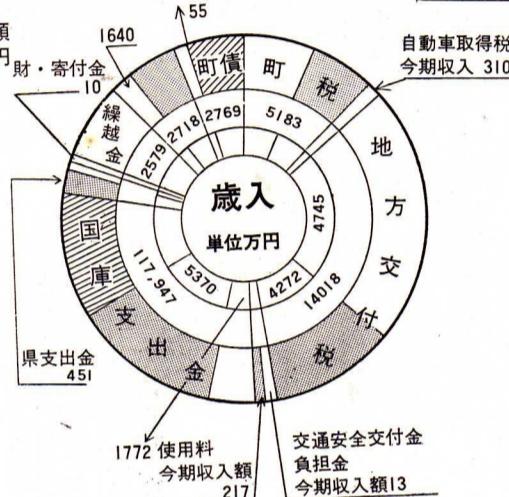
地方自治法第243条の3の規定にもとづく「財政事情書」の作成および公表に関する条令の定めるところにより昭和43年10月1日より昭和44年3月31までの玉造町の財政事情書を次のとおり公表します。

昭和44年5月31日

公表された
下期の財政
事情書により
ますと、昭和
四年度一般
会計の十月一
日から三月三
一日までの歳
入は、予算額
の三六・〇%
歳出では四三
・一%となっ
ています。
また歳入か
ら見ますと、
町税、地方交
付税は予算額
の全額が納入
されており、
国、県支出金
補助金がよく
れております
とくに事業関
係が未納とな
っております。
また、歳出
でみますと、
全予算のうち
七二%が支出
済となってお
り、事業関係
が完了すれば
約九四%の執
行率が見込ま
れています。
なお、国民
健康保険事業
面で見てみま
す。この事
情書中「一人
当り」、「世帶
当り」は三月
三一日現在の
人口一万四千
五百五十三、
世帯二千九百
五十九で算出
したものです。

①一般会計

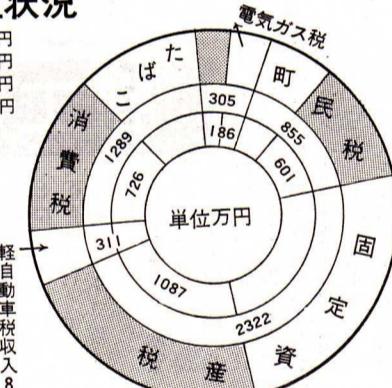
予算額 411,661 万円
 今期収入 148,512 万円
 1世帯当 50,189千円
 1人当 10,275千円
 ○下半期歳入見込額



グラフ中 の部分は今期の実績を示し
 は上期実績 は未収を示す。

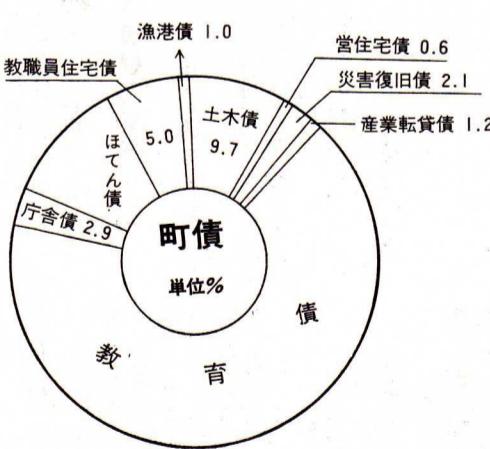
②町税の負担状況

予算額 5084万円
収入額 2610万円
一世帯当 88 19 円
一人当 18 05 円



④町債の状況

起債額 157,100 千円
 償還額 22,339 千円
 現在高 134,761 千円
 1世帯当 45,542 円
 人口1人当 9,324 円
 ○今期借入金
 14,650 千円



(5) 機械器具及び基本財産

機械器具		基本財産(千円)	
貨物自動車	(大)3	町基本財産	10,403 常銀預金
乗用車	(小)2	国保予託金	347 役場保管
乗用貨物車	1	信用基金	870 タ
トラクター	1	自治金融	750 タ
グレーダー	1	文化福祉出資金	115 タ
ロード	1	電話公債	1,330 タ
ハソドグレーダー	1		

昭和44年3月31日現在

世帯 2959戸

人 口 14453人

(6)町有財産の現況

区 分	土 地 <i>m²</i>	建 物 <i>m³</i>
公 用	5,544	1,193
公 共	132,243	16,214
普 通	87,013	3,676
	224,800	21,083

(7) 町税の負担状況

項	世帯当り 円	人口1人当り 円
町民税	2,032	416
固定資産税	3,673	752
軽自動車税	29	6
たばこ消費税	2,455	502
電気ガス税	630	129
計	8,819	1,805

